

昭和52年度第3回軽・中重核データWG議事録

日 時 昭和53年2月24日(金) 13:00-17:30
場 所 日本原子力研究所 東海研 研2棟227号室
出席者 田中, 村田, 八谷, 更田, 中島, 菊池(出), 浅見(物),
オブザーバ: 菺田

配布資料

- 1) JENDL-2 候補核種
- 2) 軽・中重核WG作業予定表(案)
- 3) Specialist Meeting on Neutron Data of Structural Materials for Fast Reactors

議 事

1. アナウンス(田中)

融合炉核データWGから軽・中重核データWGと名称が変更になったのに伴って, 八谷氏と山越氏とが新たに加わることになった。

2. プロット作業のまとめ

各自分担分の進行状況について説明があった後, 議事録(51年12月17日)にもとづいて, プロット作業の内様範囲の確認を行った。

討議の結果, 次のことを申し合わせた。

評価済データとしてはJENDL-1とENDF/B-Vをプロットする。データが1点でもあればとりあえずプロットし, 編輯の段階で検討する。縦軸のlog, linearは実物を見た上で検討する。

田中氏より1例として作業結果の説明があり, 作業のまとめ方について討議を行った。その結果

- (1) プロットするデータのID No, 著者名
- (2) 除去するデータのID No
- (3) 追加するデータ

をプロットする図毎に書いて事務局へ送ることにした。

田中氏より資料(2)にもとづいて、今後の作業予定の説明があり、了承された。プロット作業は5月末に終了し、7月に印刷する予定である。

3 評価作業の進め方

浅見(哲)氏より、配布資料(1)によりJENDL-2のための評価分担についてのCG案の説明があり、次の評価分担が確認された。

| | | | | |
|-----|-------|---------|----|------|
| He, | 6.7Li | : 菰田 | Ca | : 八谷 |
| Al | | : 中島 | V | : 田中 |
| Si | | : 浅見(哲) | | |

Nb, MoについてはFPWGと重複するところがあるのでFPWGの意向を聞いてみることになった。

田中氏より資料(2)によって評価作業の大よその予定の説明があった。

4 SPLINTの入力

浅見(哲)氏よりSPLINTの入力データを作成するプログラムの入力フォーマットの説明があった。

5 WRENDA

古川氏のrequirementに対する返答が必要であることから次回に古川氏に話をしてもらうことになった。

以上